

◆行って見たかった！図書館見学レポート◆

「東京大学医学図書館」見学に参加して

進藤 睦

2017年7月7日（金）・8日（土）に行われた「第24回日赤図書室協議会研修会」に参加しました。

1日目は、「東京大学医学図書館」（本郷キャンパス）を見学させていただきました。入口で「医学の父」ピポクラテス像が出迎えてくれました。

14時30分から3階の大きな部屋で、事務方の責任者・森田さんから概要説明があり、1961年11月3日（文化の日）に医学部創立100周年記念行事の一つとして医学図書館が開館し、ケネディ大統領からいただいた祝辞（複製）も展示されており¹⁾、すごいです。

東京大学は本郷キャンパスの他に、駒場キャンパス、柏キャンパス、白金台キャンパス、中野キャンパスなどがあり²⁾、トータルで35の図書館・室があるそうですが、課題の一つとして「司書は3年程度で異動するので、職員の専門性の確保をどうするか」を挙げていました。じっくり落ち着く暇もなく、ストレスにならないのだろうかと思いました。

14時45分から22名が2班に分かれて館内見学へ。館長室で4点の貴重な資料を拝見し、とても感動しました。

SHINDO Mutsumi

秋田赤十字病院 総務課

TEL：018-829-5000 FAX：018-829-5255

1. 「解體新書（かいたいしんしょ）」³⁾

ドイツ人クルムスが書いた医学書のオランダ語訳である「ターヘル・アナトミア」を、杉田玄白らが翻訳し、安永3年（1774）「解體新書」と名づけて出版されたものです。

「これは、秋田と何らかのゆかりがあったような・・・」と思いましたが、この時は詳細を思い出せませんでした。

2. 解體図（かいたいず）「女囚解剖図」⁴⁾

慶応4年（1868）長岡藩医、新川順庵による解剖の記録。これから始まる腑分け（解剖）の描写場面では、鮮やかな血の付いた首のない女囚のからだを男性2人が腕を抱えて運ぼうとしています。女性がどんな罪で首を切られたのかが気になり、夜になると思い出します。

3. 「佐々木曠（ひさし）氏の講義ノート、日記」⁵⁾

佐々木曠（明治16年（1883）卒）は、数学・化学・動植物学などをドイツ語、ラテン語でA6版くらいのノートに細かくびっしり記録しています。普通のノートに書いたものをポケットサイズに写して、いつも持ち歩いて勉強していたのでしょうか。

4. 「清水郁太郎氏の卒業証明書」は、明治12年(1879)のもので、大変優秀な成績でした。

1階へ降りて入館ゲートを通ると、手塚治虫先生の漫画文庫があり、5名ほど熱心に読んでいました。書庫へ入ると古い雑誌がきちんと製本・整理され、表紙と背の文字が大変読みやすいと思いました。

右側の ALTIUS 閲覧室(アルティウス:ラテン語で「より高く」)(図書・新着雑誌コーナー)⁶⁾へ。本棚の一番上の段だけ手前を高くし、斜めに本が入るようになっており、地震対策と見やすさを兼ねていました。冷房のほか扇風機を置いた室内には、32名の学生が勉強に集中していました。心の中で思わず、がんばれ東大生!がんばれ日本!がんばれノーベル賞!と叫んでいました。しかし、学生数に対して机が少ないように思いました。座れない学生もいるのではないのでしょうか?

次に左側の PLENIUS 閲覧室(プレニウス:ラテン語で「より充実して」)(1F マルチメディアコーナー)⁷⁾へ。身分証明書を提示し、与えられたパスワードを使って利用します。支援機能のひとつに、プレゼン資料を作成する端末がありました。ポスター印刷対応の大型プリンターも設置されています。17名が熱心に作成していました。

いただいた資料によると、2016年度の日赤平均利用者数は305人、一日平均貸出冊数は65冊。夜間特別利用入館者総数が1,909人というのは、この歴史ある図書館の魅力をよく表しており、職員15名の運営だと大変なのはと思いましたが、笑顔で対応されていて雰囲気も良く、温かさを感じました。

15時20分に3階へ戻り、質疑応答です。

「資料のデジタル化は、明治時代より前のもの、要するに著作権問題のないものを行っている」「図書貸出数は右上がりが増えていますが、年間文献複写件数は電子ジャーナルの普及で減っている」とのことでした。お忙しい中、見学の機会を与您てくださり、どうもありがとうございました。私たちのためにお時間を割いていただき、心から感謝申し上げます。

秋田へ帰ってさっそく「解體新書」について調べました。扉絵(表紙)と解剖付図を描いたのは、秋田藩角館(かくのだて)の小田野直武(おだの なおたけ)(1750~1780)という武士です。平賀源内から洋画を学び、秋田蘭画と呼ばれる一派を形成しました。どうか覚えてあげてください。

最後に、講師の先生方、天野さんをはじめ教育・研修委員会のみなさん、日赤図書室協議会のみなさん大変お世話になり、どうもありがとうございました。一生忘れられない暑い夏となりました。

参考文献

- 1) 東京大学医学図書館. 図書館沿革/概要: 東京大学医学図書館の成り立ち. [引用 2017. 7. 9]. <http://www.lib.m.u-tokyo.ac.jp/lib/enkaku.html>
- 2) 東京大学. アクセス・キャンパスマップ. [引用 2017. 8. 30]. http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/index_j.html
- 3) 東京大学医学図書館. 医学図書館デジタル史料室. 古典籍コレクション: 解體新書. [引用 2017. 7. 9]. <http://www.lib.m.u-tokyo.ac.jp/digital/HR091/index.html>
- 4) 東京大学医学図書館. 医学図書館デジタ

ル史料室. 卷子本コレクション：解體図(女囚解剖図). [引用 2017. 7. 9]. <http://www.lib.m.u-tokyo.ac.jp/digital/HR319/index.html>

5) 東京大学医学図書館. 史料室所蔵貴重資料. 概要・リスト：佐々木曠氏の講義ノート、日記. [引用 2017. 7. 23]. <http://www.lib.m.u-tokyo.ac.jp/lib/collec-list.html>

6) 東京大学医学図書館. 利用案内. フロア案内：ALTIUS 閲覧室 (1F). [引用 2017. 7. 9]. <http://www.lib.m.u-tokyo.ac.jp/lib/floor.html#alt>

7) 東京大学医学図書館. 利用案内. フロア案内：PLENIUS 閲覧室 (1F). [引用 2017. 7. 9]. <http://www.lib.m.u-tokyo.ac.jp/lib/floor.html#pre>

